

指定管理施設の管理運営評価表(評価対象年度：令和7年度)

担当部署名	三雲地域振興局地域住民課 松阪市教育委員会北部教育事務所		
評価対象期間	令和 7年 4月 1日 ~ 令和 8年 3月 31日		
評価対象年度指定管理料	40,493,000 円		

1. 施設の概要等

施設の概要	名 称	松阪市ハートフルみくも
	所 在 地	松阪市曽原町2678番地
	設置目的	市民の健康保持と保健意識の向上及び福祉の増進並びに体育スポーツの振興と併せて、教育文化の向上を含めた福祉交流によるまちづくりの実現を図る。
	設備の概要	全体敷地面積(27,213.82㎡) ○保健福祉センター(2,564.04㎡)：いこいの間、いきいきルーム、やすらぎの湯、栄養指導室、会議室等 ○スポーツ文化センター(2,669.37㎡)：アリーナ、控室(楽屋)、アスレチックジム、会議室等 ○屋外施設：テニスコート(1,481.25㎡)：コート数2面(ハードコート)、パターゴルフ場(3,078㎡)：18ホール、イベント広場(2,730㎡)、一般駐車場(2,678㎡)：118台、公用駐車場(125㎡)：10台 倉庫・屋外便所棟(151.25㎡) 渡り廊下棟(45.9㎡) その他(11,691.01㎡)

2. 指定管理者の概要等

指定管理者	名 称	社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会
	所 在 地	松阪市殿町1563番地
指定管理業務の内容		○保健福祉センター及びスポーツ文化センターの事業の運営・企画に関すること ア 健康増進の総合的な推進及び社会福祉の増進に関すること イ 介護予防及び生活支援事業に関すること ウ ボランティアの育成及び活用の推進に関すること エ スポーツ及び文化活動の推進による地域交流に関すること オ ハートフルみくもの設置目的を達成するために必要な事業に関すること ○施設の利用の許可に関すること ○施設、設備及び備品の維持管理、修繕に関すること
業務運営実施状況	管理業務の実施状況	○保健福祉センター 合計9,998人 ・マッサージ機：379人 ・ヘルストロン：954人 ・カラオケ：124人 ・栄養指導室：493人 ・プレイルーム：459人 ・いこいの間：1,762人 ・相談室：9人 ・会議室：1,358人 ・検診室：84人 ・健康教育室：1,848人 ・軽運動コーナー：2,481人 ・学習室：47人 ○スポーツ文化センター 合計47,148人 ・パターゴルフ：122人 ・テニスコート：953人 ・アスレチックジム：14,270人 ・楽屋等：1,896人 ・会議室：5,012人 ・アリーナ(入場料無)：22,028人 ・アリーナ(入場料有)：300人 ・イベント広場：880人 ・テニスコート側駐車場：1,687人
	サービスの質の向上	○保健福祉センター ア 世代や属性を問わない交流イベントを実施：5回/年(延296人) みんなであそぼフェスタ(10/18)、ハートフルクリスマス(12/20)、オトナの趣味シリーズ(2/24)、 パパ・ママ交流会(3/7)、高齢者の集い(3/16) イ 施設を拠点とした居場所づくりの開催：3回(延128人) はあとふる喫茶(8/5、11/19、3/4) ウ 消防訓練：2回/年(10/23、3/24)、避難訓練(津波)：1回/年(1/20) エ 健康増進器具、軽運動コーナーの設置 オ ボランティアによる地域の風景写真展示(通年)、埴輪の展示(7月) カ ベビー用品リサイクル事業：譲受308点、譲渡330点 キ 貸館及び学習室利用促進のためFreeWi-Fiの設置 ○スポーツ文化センター ア 屋外施設(芝生広場、テニスコート側駐車場、パターゴルフ場)を活用した交流会：2回/年(延210人) 七夕笹飾り(7/7)、パターゴルフ交流会(10/18) イ 閉じこもり及びフレイル予防を目的とした運動教室：5回シリーズ(延63人) みんなでスローエアロビック教室(11/4、11/11、11/18、11/25、12/2) ウ 他団体との共催事業(共同募金啓発・シェイクアウト訓練)：1回/年(延141人) 親子租税教室(8/2) エ 貸館利用促進及び利便性向上のためFreeWi-Fiの増設(合計2機)
	施設・設備等の維持管理	○施設・設備及び備品の維持管理、修繕 ア 施設・設備修繕 ・保健福祉センター：11箇所 ・保健福祉センター(事業所で修繕)：8箇所 ・スポーツ文化センター：9箇所 イ 12条点検の実施 ウ 設備エラー時の職員による再稼働(加圧給水ポンプ)：延100回以上 ○専門業者による定期的な空調設備、浄化槽、消防設備等の保守点検 ○屋内外の清掃、環境美化管理 ア 清掃業者による館内清掃 ・保健福祉センター：5回/週 ・スポーツ文化センター：1回/週 イ 清掃業者による大型清掃(ワックスがけ、絨毯清掃、窓ふき等) ウ 清掃業者による敷地内の草刈り、庭木の剪定：通年(冬季除く) ○専門業者によるスポーツ器具及び屋外遊具の保守点検
指定期間		令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 11 年 3 月 31 日

(単位：円)

			事業計画	事業収支実績			
				令和6年度	令和7年度		
事業収支推計	収入	指定管理料	40,493,000	40,493,000	40,493,000		
		その他利用料	4,559,000	5,102,170	5,503,490		
		受取利息配当金		1,731	2,905		
		雑収入	20,000	21,560	34,110		
		計(A)	45,072,000	45,618,461	46,033,505		
	支出	人件費	12,986,000	13,800,927	14,564,068		
		通常維持経費	27,842,000	26,696,161	26,333,056		
		その他経費	4,244,000	5,171,373	4,297,122		
		計(B)	45,072,000	45,668,461	45,194,246		
	収支差引額(A)-(B)		0	△ 50,000	839,259		

3. 指定管理者業務運営項目別評価

評価項目			指定管理者自己評価		担当部署評価	
業務運営項目	内 容		採点	判定	採点	判定
管理業務の実施状況	①施設の目的や基本方針の確立	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立されていたか。 また、職員は理解していたか。	3	B	3	B
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	3		3	
	③利用者数	利用者数は当初目標数を達成されたか。	3		3	
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の維持管理、運営が行われたか。	4		4	
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	4		4	
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	4		4	
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	5		4	
	⑧地域の振興・活性化	地域や地域住民との交流・連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を行ったか。	4		4	
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取組み	自主事業や運営方法の工夫等利用者数増加に向けた具体的な取組みはあったか。(注1)	3	B	3	B
	②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取組みを行ったか。	3		3	
	③適切な情報提供	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行ったか。	3		3	
	④利用促進・PR	当該施設・事業について、広報誌やパンフレットを作成するなど、具体的な取組みが実施され、積極的な利用促進が図られたか。	3		3	
	⑤非常時・緊急時の対応	事故、災害等の緊急事態発生時の危機管理マニュアルの整備や対応体制の確立はされていたか。	4		4	
	⑥苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。 また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	4		4	
	⑦自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	4		4	
	⑧利用者アンケートの実施	利用者アンケートを実施し、利用者の意見・要望、満足度の把握に努めたか。 課題がある場合は対応策を講じたか。	3		3	
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持がされていたか。	4	B	4	B
	②備品・什器等の保守点検	備品・什器等が適切に管理され、良好な機能が保持されていたか。	4		4	
	③修繕業務	点検によって異常が認められた場合には、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じたか。	5		5	
	④樹木・植栽等管理業務	草取りや除草等を行い、利用者が快適に利用できるよう良好な景観が保たれていたか。	4		4	
	⑤清掃業務	敷地内は全て利用者が快適に利用できるよう清潔な状態が保たれていたか。	4		4	
	⑥鍵管理	鍵の管理は適切であったか。	5		4	

【(注1)のみ指定管理施設の管理運営評価表作成要項の評価基準1-(2)の採点基準にて評価】

4. 総合評価

指定管理者自己評価	担当部署評価
【努力した点・成果等】 ○共通 ・消防立入検査における指摘事項について、年度内に全て改善を行った。 ・福祉団体や関係機関との連携に努めるとともに、共同で事業を開催した。 ・計画的に修繕を行い、施設の維持管理に努めた。 ○保健福祉センター ・貸館予約は電話または来館によるものが大半であるが、予約受付時には公共施設予約システムへの入力を行い、システムの利用促進に努めた。 ・重度利用者の垂直避難用機器を導入し、災害対策の強化に努めた。 ○スポーツ文化センター ・休館日である月曜日も営業し、利用促進及び利便性の向上に努めた。	【評価すべき点】 ○共通 ・指定管理者として、社会福祉の増進や地域交流に積極的に取り組むとともに、利用者が安全・安心に利用できるよう努められた。 ○保健福祉センター ・利用者に寄り添った避難用機器を導入するなど、大規模災害の備えに取り組んでいただいた。 ・施設・設備の故障に対し、速やかに対応・報告をしていただいた。 ○スポーツ文化センター ・地域のニーズを引き続き把握し、地域交流に関する事業の実施や新たな自主事業の実施に努めていただきたい。
【改善すべき点】 ○共通課題 ・津波注意報発令時の利用者避難に平均45分を要したことから、避難時間短縮に向けた訓練の実施及び避難確保計画の見直しが必要。 ○保健福祉センター ・施設の利用実績が減少しているため、来館者増の取り組みを行う。 ※「管理業務の実施状況③」及び「サービスの質の向上①」については、目標値に対して実績が下回る結果となったが、空調設備の不良により利用実績が低下したことが要因であり、その原因は指定管理者に起因するものではないと判断し、採点を「3」とした。 ○スポーツ文化センター ・施設利用申請時に、施設利用の不許可・取消対象者に該当するかどうかを確認する必要がある。	【指導すべき点】 ○共通 ・大規模災害に備え、実践的な防災訓練を実施するなど、幅広い世代の利用者が安心して利用できるよう努めていただきたい。 ○保健福祉センター ・施設の老朽化が進んでおり、利用者に影響がでないように計画的に修繕を行えるよう市と連携をとっていただきたい。 ・貸館利用の促進に努めていただきたい。 ○スポーツ文化センター ・施設利用の申請者については、公的な機関への確認などを行い、基本協定等に基づいた利用の許可を行っていただきたい。
利用者への安全配慮を念頭に、計画的な避難訓練の実施や避難用備品の整備を行っていただきました。有事への備えを着実に進められている点を高く評価します。今後は、これまでの防災対策を継続・強化するとともに、人口減少が続く環境下ではありますが、利用者の拡大に向け積極的な取り組みを行っていただけることを期待します。	

点数	採点基準	
5	優良	協定等で定めた水準以上のサービスが提供されているとともに、独自の新たなサービスが提供されている。
4	良	協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている。
3	普通	協定等で定めた水準のサービスが提供されている。
2	やや劣る	協定等で定めた水準のサービスが一部提供されていない。
1	劣る	協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されていない。早急に改善が必要である。

評価	評価の判定基準
A	5が半分以上かつ残りも3以上
B	全てが3以上
C	2が含まれる
D	1が含まれる